

2016年3月18日

4G LTE網で全国通話エリア。データ通信にも対応した 車載型LTEトランシーバー IP500M を新発売

品名 / 型名	車載型LTEトランシーバー IP500M
希望小売価格	オープン価格
発売予定日	2016年3月28日(月)
年間販売予定数	6,000台

アイコム株式会社(本社:大阪市平野区、代表取締役社長:福井勉)は、LTE 回線を利用することで国内人口カバー率 99%^{※1}を実現した車載型 LTEトランシーバー IP500M を 2016 年 3 月 28 日より販売します。

IP500M は、無線機が持つ同報性(一度の送信で、多人数に一斉連絡できる)を損なわないまま、IP技術によって通話範囲の制限を取り払い、ビジネスの可能性を広げるアイコムの通信システム「IP ADVANCED RADIO SYSTEM」の新端末としてリリースするもので、携帯型端末の IP500H の姉妹機となります。

定額の回線使用料のみで日本全国を通話範囲^{※2}にするほか、多人数による同時送受信に対応。ほかの送信者の通話終了を待たずに、優先順位の高い情報を割り込んで伝え、すばやく全員で共有できます。もちろん、通話相手を限定して効率よく情報共有できるグループ通話・個別通話にも対応しています。

また、GPS機能を装備しており、端末の位置情報をPC上に表示させることもできます^{※3}。さらに、データ通信にも対応。別売のゲートウェイユニット IP500G をシステムに導入することで、ハンディターミナルなどで読み取った情報を、IP500M の LAN ポートや内蔵の無線LANアクセスポイントを経由して、音声だけでない情報をタイムリーに伝達することができます。

業務ユースに相応しい、タフさも特長です。埃や水しぶきも気にせず使える IP54^{※4}の防塵・防水仕様としたほか、アルミダイキャスト製のシャーシを採用して堅牢性を担保しています。

回線利用料のプランは、音声通信のみを想定した 128kbps プラン、データ送受信にも対応できる 512kbps プランを用意。用途に合わせてお選びいただけます。

おもな特長

- au の 4G LTE(800MHz)回線を利用する、日本全国が通信範囲^{※1}の車載型無線機。
- LAN ポート・無線 LAN アクセスポイントを搭載し、データ送信も可能^{※5}。
- 免許・申請手続き、無線従事者資格が不要。月額定額で使い放題。
- 同時通話・多重通話に対応。全体・個別・特定グループなど、目的に応じて通話先も選択可能。
- 端末の位置を地図上に表示^{※3}したり、従来の無線機との連携を可能にする機能拡張に対応。

※1……auの4G LTE(800MHz)の電波到達範囲が通話エリアとなります。利用料などのサービス体系は、別途発表。

※2……「人口カバー率」は国勢調査に用いられる約500m区画において、50%以上の場所で通信可能なエリアを基に算出しています。

※3……IP500Gに標準付属のソフトウェアをPCにインストールして使用。対応地図ソフトが別途必要。

※4……試験用粉塵を1㎡あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置した後に取り出して、無線機として機能すること。

また、いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響のないことです。

※5……データ受信には別売のIP500Gをシステムに組み込む必要があります。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

報道関係者様用：アイコム 宣伝広告課 06-6793-5535 (担当 赤穂/松田)

一般のお客様用：アイコムサポートセンター 06-6792-4949

(ご参考) 新製品の仕様などの詳細は、添付の新製品資料をご参照ください。